



9月定例会個人質問

16人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ配信・録画配信の視聴について



本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。
配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会



すべてのスポーツ施設に空調設備を設置すべきでは



現時点で既存の施設に設置するのは難しい



その他の質問

- ・就学前の子育て環境について
- ・インボイス導入に向けての課題と今後の対応は
- ・地域での移動支援と愛のりタクシーの充実は

Q 小・中学校体育館や武道場などスポーツ施設の空調設備の状況は。

A 学校の体育館・社会体育施設に設置はしていないが、12月供用開始のプロシードアリーナは、メインアリーナを含む各部屋に空調設備を備えている。

Q 近年は温暖化や自然災害が頻発している。学校体育館は避難場所にもなっているため、「学校体育館の空調設備の導入に活用可能な国の支援制度」を使うべきでは。

A 多額の初期費用がかかることと、管理諸室設備の更新の優先順位を考えると体育館への導入は難しい。

Q 市民が安全に使用できるようすべてのスポーツ施設に空調設備を設置すべきでは。

A 市の財政状況から、現時点で既存の施設に設置するのは難しい。必要な場合はプロシードアリーナを利用してほしい。



▲空調のない彦根市武道場内



小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q 旧燦ぱれすの図書館整備費の概要は

A 彦根市の負担額が軽減される整備費とする



その他の質問

- ・開発許認可行政の期間短縮は可能か
- ・参加しやすい、公正な入札に対する課題は

Q 旧燦ぱれすの図書館化について、改修・増築と他の場所に新築する場合の整備費等の違いは。

A 旧燦ぱれすを改修・増築する整備費は、約16億1千万円、国庫補助金・有利な起債活用で、市の負担は約6億9千万円。同規模を他の場所で新築する整備費は、約22億6千万円、国庫補助金・有利な起債が活用できないので全額が市の負担。よって、旧燦ぱれすを改修・増築する方が、約15億7千万円、市の負担が軽減される。

Q いつ整備されるのか。

A 令和10年度までには完成する。

Q 図書館整備に立候補され決定されなかった河瀬地区、高専候補地の稲枝地区などに対するその後の対応は。

A 公共事業が実施されなかった場合でも、今後の土地活用等について、地域の方に寄り添い対応していく。



▲図書館化を目指す旧燦ぱれす



森野 克彦議員
企画総務消防常任委員会

Q 猿ヶ瀬川の改修工事は当初の予定通り進んでいるのか

A 当初の予定よりも進捗は遅れている



その他の質問

- ・ひこね芹川駅付近の高架下道路に発光カーブミラーを設置しては
- ・古沢町のアンダーパスの安全対策の進捗と今後の予定

Q 猿ヶ瀬川の改修工事は当初の予定通り進んでいるのか。

A 駅東町から東中学校付近までの当該事業実施区間1,070mのうち、安清跨線橋付近から上流へ約227mについては昨年度までに整備を完了している。今年度は、近江航空踏切付近市道の横断部約20mと、安清跨線橋付近の一部開渠となっている未改修区間約40mの整備を行う予定であり、これが完了すれば整備の進捗率は27%となるが、当初の予定よりも進捗は遅れている。

Q 完成までの工事スケジュールは。

A 市街地内での整備であり、用地の確保や沿線の鉄道への配慮など課題があることに加え、厳しい財政状況であり完成までの具体的なスケジュールは示せないが、できるだけ早期に完成できるよう進めていく。



▲今年度末に進捗率27%となる予定の猿ヶ瀬川の改修工事の現状





馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会

Q 平田川の抜本的な河川改修の整備方針と実現のための方向性は

A 改修に向けた調査、予備設計を進め抜本的な改修時期を示す

Q 抜本的な河川改修に対する見解は。

A 大堀町から琵琶湖への全長5.6kmのうち、下流から2kmの北平田橋上流部付近までは改修を終えているが、上流区間は全線的に未改修であり集中豪雨のたびに溢水していることは把握している。

Q 淀川水系湖東河川整備計画の概要は。

A 滋賀県の河川整備方針に基づき策定されたもので、平田川は緊急性の観点から河川改修を行うことが望ましいAランク河川に位置付けられる。平田川の河川整備計画の目標は、10年に一度の洪水を安全に流下させる整備のために調査検討を進めることとされており、調査後、予備設計を進め、改修の概要を決定する。

Q 抜本的な改修までの即応的な対処や対応は。

A 堆積土砂や雑木類の除去、河床の掘り下げなどを行う。



その他の質問

- ・彦根市民防災マニュアルの周知徹底を
- ・河川氾濫危険度判断基準は
- ・ユニバーサル社会構築のためのバリアフリー化を



▲一時間降雨50ミリで溢水する平田川と冠水した通学路



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会

Q 消防団活動を円滑にするために活動費を充実することはできないか

A 財政が厳しい中でも命に係わる部分でありしっかりと検討していく

Q 分団の活動費は9万円。消耗品を購入すればあっという間に枯渇してしまう。

防寒着等高額な物は到底買える金額ではない。分団の活動費を充実することはできないか。

A 令和3年度までの基準と変更はなく、特に減額したものではない。国の通知で、報酬は団ではなく個人に支給することが求められた。団運営が厳しいことは理解するが、市の財政負担を急激に増加させることは難しく、現状としては工夫していただきたい。こうした意見があったことは真摯に受け止める。

Q 市の財政が厳しいことは昨日の代表質問でも何度も聞いているのでわかる。市長の見解は。

A 財政が厳しい中でもやはり命に係わる部分、そこはしっかりと検討してまいりたい。



その他の質問

- ・消防団の出動範囲を制限された理由は
- ・火災現場で円滑に消火ができる人員が確保されているか
- ・有害鳥獣駆除対策について



▲火災防御訓練の様子